

令和4年度静岡市協働パイロット事業 課題テーマ一覧

令和4年度協働パイロット事業では、各事業担当課から計4件の課題テーマが提示されました。

以下の内容をご確認いただき、静岡市の抱える課題解決のため、貴団体の力をお貸しください。なお、課題テーマの詳細や、相談については、直接各事業担当課にお問い合わせください。

No.	課題テーマ	事業担当課
1	市民、事業者への「多文化共生」の啓発業務	国際交流課 (054-221-1303)
内容	<p>静岡市では、すべての人が、互いの国籍や民族等を尊重し、助け合い、学び合い、一人ひとりの個性を活かして、ともに行動することができるよう、さらなる「多文化共生のまち」の実現を推進していきたいと考えています。このため、令和4年度に、条例と8カ年の計画を定める予定です。市民、事業者等、幅広い方々とともに多文化共生のまちをつくっていくために、「多文化共生」の啓発を協働して企画、実施していただく方を募ります。</p> <p>提案にあたっては、紙媒体の啓発資料作成といったような成果品を作る業務ではなく、SNS やオンラインなど、発信力を考慮した多媒体や色々な手法での「多文化共生」の啓発に関する企画から実施までを希望します。</p> <p>紙媒体の啓発資料作成といったような成果品を作る業務ではなく、発信力を考慮した多媒体や色々な手法での「多文化共生」の啓発に関する企画から実施までを希望します。また、発信方法はSNS やオンラインなど時代の潮流に合わせて工夫されたものを期待します。</p> <p>なお、事業にあたっては、日本語にこだわらず、外国人にもわかりやすい啓発を希望します。</p>	

No.	課題テーマ	事業担当課
2	もう一度、人生をデザインしよう～社会参加への再チャレンジを目指す方とそれを応援する寛容な他人とのコミュニケーション実践の場の提供	商業労政課 (054-354-2430)
内容	<p>ニートやひきこもり等の社会参加への再チャレンジにおいて丁寧な支援を必要とする方のための既存相談機関は多数あるが、市民が助け合いながら社会参加できる地域共生社会の創造を目指すためには、専門家ではない寛容な他人が身近な応援者となることで支援側の裾野を広げる必要があります。</p> <p>コミュニケーションスキルに不安を抱えている方にとって、相談機関より一般社会に近い場での対話は再チャレンジへの重要なステップです。</p> <p>一方、非専門家である支援者の裾野を広げるためには、支援方法の選択肢を増やすこと、意欲ある人材が新たな支援を始めることのできる場を用意すること必要になります。</p> <p>そこで、市民活動団体の柔軟な発想とネットワーク、きめ細やかな対応力を活かして、社会参加への再チャレンジを目指す方とそれを応援する非専門家たる支援者をつなぎ、社会参加に欠かせないコミュニケーションスキルを育む場を提供することで、支援する側・される側双方のチャレンジを応援する事業提案を希望します。</p> <p>なお、静岡市就職氷河期世代就職促進支援事業として、「過去」の人生体験をふりかえり「現在」を整理することで、「未来」を設計し、再チャレンジするきっかけづくりを支援する「ライフデザイン・ワークショップ」を実施しており、協働パイロット事業実施に当たってその手法を共有することも可能です。</p>	

No.	課題テーマ	事業担当課
3	大谷・小鹿地区における新たなコミュニティの形成事業について	新インターチェンジ周辺整備課 (054-238-1981)
内容	<p>現在、大谷・小鹿地区は、「大谷・小鹿地区まちづくりグランドデザイン」に基づき、東名高速道路スマートインターチェンジを活用したまちづくりが進行しています。しかし、大規模開発や自治会等組織の高齢化、縮小化等に伴い、コミュニティの維持が困難になることが想定されます。特に、大規模開発により、多くの企業がインターチェンジ付近に新たに進出したことで、地域で働く“人”と地域に住む“人”とを繋ぐ、新たなコミュニティの形成が必要であると考えています。</p> <p>そこで、地域資源である大谷小学校を活用し、地域の子どもが地域で働く人を知るにより、新たなコミュニティを形成し、さらに、地域の主体的・継続的な参画を目指した事業提案を募集します。地域の魅力・価値の向上に資する事業に関するスキルや知識を持つ市民活動団体の先駆的、創造的な事業提案を期待します。</p> <p>なお、子供が参画しやすく、子育て世代や高齢者の参加が可能となる事業の提案が望まれます。</p>	

No.	課題テーマ	事業担当課
4	「静岡市のお茶」の魅力発信によるブランド力向上について	農業政策課 (054-354-2089)
内容	<p>静岡市は、山間地を中心に茶畑が広がる全国有数の茶産地であり、全国からお茶が集まり、お茶の消費も盛んな「お茶のまち」です。</p> <p>しかし近年、リーフ茶の消費低迷や、茶価の低迷、生産者の高齢化、担い手の減少、耕作放棄地の増加など、市内の茶業を取り巻く環境は厳しさを増しているのが現状です。</p> <p>静岡市がこれからも「お茶のまち」であり続けるためには、多くの人に「静岡市のお茶」の魅力を知ってもらい、飲んでもらうことで「静岡市のお茶」のファンを増やし、ブランド力を高めていく必要があります。</p> <p>市民活動団体の柔軟な発想とネットワーク、行動力により、「静岡市のお茶」の魅力を発信し、「静岡市のお茶」のブランド力向上につながる事業提案を募集します。</p> <p>静岡市には、ブランド茶や各地域で生産されたお茶が数多く存在します。本事業では、「静岡市のお茶」として一体的なPRを希望します。</p>	

「課題テーマ」のほかに、「自由テーマ」に関する事業も募集しています！

いずれのテーマを選択しても、採択に関する審査に影響はありません。

「自由テーマ」は、分野を問わず、提案団体の皆様に自由に社会的課題の解決のための協働事業を提案いただく部門です。